

学校だより 朝日丘

令和7年1月17日

氷見市立朝日丘小学校

氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

「ヒドウン・カリキュラム」という考え方

「ヒドウン・カリキュラム (Hidden Curriculum)」という言葉をご存知でしょうか。「隠れたカリキュラム」と訳すことができます。「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営む中で、児童自らが学びとっていく全ての事柄を指す用語」です。

ICTの普及によって、知識を得ることが容易にできるようになり、知識を得ること以上に大切なことが重要視されている時代です。だからこそ、ヒドウン・カリキュラムの在り方が大切になってきます。

学校内の掲示物やSTEAMミュージアムも、子供たち自身が知らず知らずのうちに学んでいくという意味で、ヒドウン・カリキュラムと言えます。

また、授業中の教師の何気ない言葉がけもヒドウン・カリキュラムです。例えば、子供の発言を教師が復唱したとしましょう。そこからは、「友達の発言を聞いていなくても大丈夫」という悪い習慣を学ぶこととなります。子供から「〇〇は、どうしたらいい？」と聞かれたとします。「△△をしたらいいいよ」と答えるのが親切な気もしますが、「あなたはどうしたいの？」と聞き返したらどうなるでしょう。後者は、「自分の思いをもった

上で相談しよう」「自分がやりたいことを考えよう」という主体性を育てることにつながるかもしれません。

教師は、「どのような言動から教育効果が生まれるか」、「どのような状況を生み出せば、よい影響を与えられるか」ということを、常に考えることが大切だと思っています。



「全校で遊ぼうプロジェクト」

6年生が、「全校で遊ぼうプロジェクト」として、「かくれんぼ宝探し大会」を行ってくれました。6年生が主体的に進めてくれたこの企画には、2つの大きな意義があると思えました。



一つ目は、「新しいことへのチャレンジ」です。これまでやったことのない内容でしたが、そこに挑戦すること自体が素晴らしいことです。

二つ目は、「臨機応変」な運営です。この企画は、12月に実施する予定で進めてくれていました。しかし、インフルエンザ感染症の流行によって、延期されたのです。そのような状況にも関わらず、円滑に進めてくれました。対応力が素晴らしいと思えました。

6年生は卒業まで3か月です。最高学年として、最後までしっかり頑張ってもらいたいと思います。

ホームページに掲載した写真より

